

としょかん

いわて

岩手県立図書館報

2026. 9

No.199

contents

目次

ページ

02

特集 震災・防災の学び合いスペース I-ルーム

09

県内図書館の活動紹介

洋野町立種市図書館

11

レファレンスコーナー

- ・インドでは YES の時は首を横に振り、NO の時は首を縦にする(うなずく)ってホント？
- ・盛岡の夏祭り「盛岡さんさ踊り」の前身について。また、なぜ「盛岡さんさ踊り」に変わったのか知りたい。

13

児童コーナー わかば通信

やってみよう!! しょうわのあそび

14

図書館掲示板

令和 8 年度巡回展のご案内



岩手県立図書館では、東日本大震災津波からの復興や防災を含む今日的な課題について、児童生徒やグループによる学び・探究等を支援するため、令和5年(2023)11月に、震災・防災の学び合いスペース「I-ルーム」を開設しました。開設から3年、実際にどのように活用されているか、どのようなことができるのかを、開設までの歩みとともに、あらためてご紹介いたします。

学び合い
出合い
information
index
愛
Iwate

震災・防災学び合いスペース

「I-ルーム」設立の経緯と目的

岩手県立図書館 館長 森本晋也

令和元年度(2019)から、岩手県立図書館の機能強化に向けて、「電子書籍機能の提供」、「Wi-Fi機能の提供」、「東日本大震災津波資料の利活用」、「今日的課題の解決及び4階スペースの利活用」の4つのテーマについてワーキンググループを立ち上げ検討が行われてきました。その後、「音と映像」コーナーは、「震災や災害、防災、安全」と「県政課題に関する県民への情報発信」をテーマに、図書資料や視聴覚資料を収集・活用し、情報発信を行う拠点としたスペースとすることに決まりました。また、震災資料のデジタル化を推進するとともに、グループ学習やアクティブラーニングが可能で、さら

に県政課題に対応した企画やワークショップを展開できる多目的スペースとして整備していくこととなり、令和5年度(2023)の開設に向けて準備してきました。

県の総合計画「いわて県民計画(2019～2028)」の第2期アクションプラン「復興推進プラン(計画期間：令和5年度～令和8年度)」において、4つの柱の一つである「未来のための伝承・発信」の取組には、「県立図書館における震災津波関連資料の収集を集中的に行い、復興及び防災・安全等に関して、県民への啓発及び県内外への情報発信に資する拠点を目指します」と掲げられています。

このため、令和5年度(2023)には、県産材を活用した特注の書架やテーブル・椅子を整備するとともに、3階にあった本県関係の「震災関連資料コーナー」を4階に移動し、国内の自然

災害・防災関係の図書等を購入するなどしてコーナーを充実させて、令和5年(2023)11月3日に、震災・防災学び合いスペース「I-ルーム」が開設されました。



また、「I-ルーム」を震災について学ぶことのできる施設として多くの方々に知っていただくため、震災伝承ネットワーク協議会に申請を行い、令和6年(2024)2月7日に「震災伝承施設」(第3分類)として登録となりました。図書館での登録は、全国でも大変珍しい事例です。

さて、「I-ルーム」という名称には、「児童生徒やグループによる学び合い」、「利用者が資料等に出会い」、課題解決に向けて有益な情報(Information)や進むべき方向性を示す指標(Index)・指針を得る場」、そして「愛と希望に満ちた岩手県(Iwate Prefecture)の創造につながる拠点」になるという願いが込められています。このような様々な「あい」を集めて、「I-ルーム」と名付けました。

「I-ルーム」の役割は、3つあります。一つ目は、「児童生徒等の復興や防災の探究的な学びの支援」です。「I-ルーム」では、児童生徒の課題に応じて、具体的に学べる図書や資料を提供したり、学校等に図書のセット貸出を行ったり、「レファレンス機能」を活用して探究的な学びの支援などを行っています。2つ目は、「自然災害や防災、安全を総合的に学ぶ拠点」としての機能です。県民や本県を訪れた方々が震災や自然災害、防災、安全等を学ぶことができるよう資料を収集し、関係機関等との連携展示

や講演会、ワークショップ等を開催しています。また、様々な県政課題に対応した企画も行っています。3つ目は、「県内の震災津波関連施設等のサテライト的機能」です。県内の震災関連施設の紹介をはじめ、震災に加え沿岸がテーマの企画を行うなど、沿岸部への誘客の促進につなげていくことができるよう努めています。

「I-ルーム」の所蔵資料は、令和8年(2026)4月1日現在、開架書庫に東日本大震災に関する資料、様々な自然災害に関する資料、防災に関する資料が合計6,355点あります。また、震災の発災直後から収集してきた震災関連のチラシや記録集、フリーペーパー、避難所で作成された新聞などの資料が6,619点あります。さらに閉架書庫には、震災関連の図書や雑誌、視聴覚資料、チラシなどの収集資料が25,099点あり、合わせて38,073点所蔵しています。現在も資料を集中的に収集しており、順次デジタル化した資料を「いわて震災津波アーカイブきぼう」に登録し、広く活用していただけるよう努めています。



「I-ルーム」で開催してきた様々な講演会やワークショップ等の「I-セミナー」を、今年度は沿岸部でも「出張I-セミナー」として開催します。今後も「I-ルーム」を拠点として、震災の記憶と教訓を未来に確実に継承するとともに、自然災害等から命を守るための拠点として発展させていきたいと考えています。

Ⅰ-ルームって今何してますか？

岩手県立図書館指定管理者
ふるさと未来課 小林亜衣



るイベントを企画していますので、ぜひご注目ください。

■ ふるさと未来課 常々日頃

Ⅰ-ルームは「震災・防災の学び合いスペース」として令和5年(2023)11月にオープンしました。以前は郷土資料コーナーにあった震災関連資料コーナーの資料に、自然災害や防災に関する資料などを加え拡充。現在では、開架スペースだけでも約13,000点の資料を常時公開しています。

そんなⅠ-ルームの運営を担当しているのが、ふるさと未来課です。Ⅰ-ルームにある資料をもっとみんなに使ってもらうには…？このスペースをどう活用したら…？と日夜頭を悩ませています。いろいろ業務はありますが、今回はなかでも力を入れている「イベント企画」「学習支援」「セット貸出」についてご紹介したいと思います。

■ イベント企画 千思万考

Ⅰ-ルームでは、毎月震災や防災等に係るイベントを開催しています。今年度は、防災すごろくゲームで遊ぶイベントや、昨今のクマ問題を鑑みてアーバンベアの現況やクマの知られざる生態について学ぶ講演会、梅雨の時期には土砂災害について学ぶ子ども向け講演会などを企画しました。防災や自然災害について学んだり、地域の課題について考えたり。資料とあわせて、知識がより広がるようなイベントの企画を心掛けています。

ちなみに、この原稿を作成している今は夏休みシーズン真っ盛り。夏休みの宿題に悩むお子さん向けに「防災で自由研究！？お悩み相談室！」と銘打って、防災や災害をテーマにした自由研究のお手伝いをしています。今後もさまざまな角度から防災・災害について考えを広げ



▲Ⅰ-セミナー「防災すごろくゲーム『GURAGURA TOWN』で遊んでみよう！」(令和8年5月開催)



▲Ⅰ-セミナー「土砂災害って知ってる？～発生のしくみや避難のしかたを学んで砂防博士になろう！～」(令和8年7月開催)

■ 学習支援 鼓舞激励

アクティブラーニングスペースというⅠ-ルームの利点を活かし、学校向けに防災・災害に係る授業のサポートを行っています。

学校の授業や宿泊研修のなかでⅠ-ルームを訪れていただき、防災士の資格を持つ館長の講話を聞いたり、防災に関するワークショップやゲームをしたり。生徒さんに防災・災害等で知りたいテーマを決めてもらい、それに合わせてふるさと未来課スタッフが選書した本を読んで学んでもらう“ミニ探究学習”も行っています。「こんな本ないですか？」とその場でレファレンスを受けることもあり、スタッフも知識を総動員して資料の提供にあたっています。

先生からは「生徒たちが本に触れている姿が新鮮！」「学校図書館だけではどうしても内容が手薄なので、いろいろな本が見られるのはありがたい」とのお声をいただいています。



▲県内中学生による学習の様子

■ セット貸出 格致日新

本州イチの広さを誇る岩手県。I-ルールの資料を利用したい！でも遠い！！という団体に向けて資料を選書し、お送りするサービスです。

沿岸部の高校から「震災学習の調べ物にしたい」と160冊(!)のお申し込みがあったり、震災伝承施設の「イベントで使うために防災ゲームを貸してほしい」というご要望にお応えしたことも。送料は県立図書館が負担しているので気軽にご利用いただけます。



▲小学校にお送りしたセット貸出の例

ことあるごとに各所へPRしているこのセット貸出。その甲斐あってか利用は増えに増え、昨年度の貸出実績は34件1339点！今後も

もっとたくさんの方にご利用いただけると思います。

■ I-ルーム 百年大系

I-ルームが開設され、はや3年になろうとしています。開設のきっかけとなった東日本震災からは15年の時が過ぎました。時が経つのはあっという間です。きっと、100年後もあつという間に訪れるでしょう。

過去の災害に思いを馳せるとき、その手掛かりとなってくれるものが資料です。人の記憶が薄らぐことがあっても、資料が残っていれば、遠い未来の人たちに、そこ込められた想いと共に手渡すことができます。

図書館は直接人や物を救うことはできません。けれども、図書館だからこそできることがきっとある。きちんと資料を集め、保管し、提供していくことが、図書館における災害伝承、そして防災のかたちだと思います。

セット貸出を含め、I-ルーム利用の諸手続きについては、当館ホームページでご案内しています。

あい I-ルーム 震災・防災の
学び合いスペース

トップページの
このバナーをクリック!!

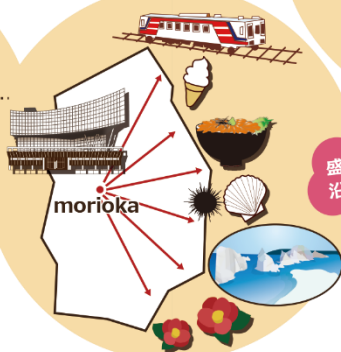




どんな場所？

県内の震災津波等 関連施設との連携

県内の震災関連施設等に関する情報を提供します。



いわての復興教育の 探究的な学びの支援

小・中・高・特別支援学校と連携し、児童生徒やグループによる、震災や防災等の探究的な学びを支援します。

盛岡にしながら
沿岸地域を学ぶ！

自然災害や防災・安全を 総合的に学ぶ拠点

県民や本県を訪れた方々が、震災津波や自然災害、防災、安全等を総合的に学ぶことができる情報拠点とします。



あい I-ルーム

震災・防災の
学び合いスペース

名前の由来

いろいろな
「あい」からつけました。



学び合い
出会い
information
index
愛
Iwate

学び合いの場としてはもちろん、豊富な資料に出会い、地域課題の解決に有益な情報や進むべき方向性を示す指標・指針を得る場として、さらには愛と希望に満ちた岩手県の創造につながる拠点となるよう、さまざまな『あい』を集め、名付けました。

あんな
ことや？



こんなこと？

具体的にできること

レファレンス支援

学校や各種団体等へ、震災津波や防災について、具体的に学べる図書や資料の提示・調べ方等の支援を行います。



セット貸出

東日本大震災津波、自然災害・防災に関する図書をセットにし、学校や各種団体へ貸し出します。

ワークショップ

震災津波や防災、地域課題をテーマに、ワークショップ等を企画・開催します。

探究的な学習

伝承施設等に訪問する際、事前・事後学習として、具体的に学べる図書や資料をご利用いただけます。

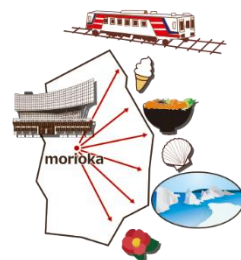


自然災害における 防災・安全

地震・津波・火山・台風・大雪など、近年、激甚化するさまざまな自然災害について、総合的に学ぶことができる情報拠点とします。

サテライト機能

県内の震災伝承施設等と連携し、防災に関する展示や各施設の特徴の紹介などを行っています。



I-ルーム 開催催事一覧（令和5年11月～令和8年9月）

ミニ展示

年度	期間	展示タイトル
令和5 (2023)	11月1日(水)～3月24日(日)	岩手日報記者が撮影した東日本大震災報道写真展
	3月1日(金)～3月24日(日)	令和5年度岩手県復興ポスター展
令和6 (2024)	4月1日(月)～8月29日(木)	東日本大震災津波伝承館 企画展示 事実と教訓を未来につなぐ
	8月20日(火)～8月28日(水)	宮古市の今と昔を知る～復興の歩みと観光魅力の再発見～
	8月31日(土)～10月30日(水)	日本赤十字社 令和6年能登半島地震救援活動パネル、防災グッズ展
	11月1日(金)～12月26日(木)	岩手日報社 いわてワンプロパネル展
	11月19日(火)～12月26日(木)	いわて花巻空港開港60周年記念パネル展
	12月28日(土)～6月29日(日)	東日本大震災津波伝承館 企画展示 令和6年能登半島地震から振り返る―地震・津波から生き延びるための備えの今―
	2月1日(土)～5月29日(木)	三陸鉄道開業40周年写真展
	2月21日(金)～3月24日(月)	令和6年度岩手県復興ポスター展
	6月1日(日)～6月29日(日)	2025 岩手の土砂災害写真パネル展～みんなで防ごう土砂災害～
	7月1日(火)～8月28日(木)	日本赤十字社 令和7年大船渡林野火災救援活動パネル、防災グッズ展示
令和7 (2025)	8月1日(金)～8月26日(火)	岩手の流域治水パネル展 2025～激甚化・頻発化する水災害にみんなで備える～
	8月19日(火)～9月21日(日)	久慈けんぶんろく～肌で感じる久慈市の魅力と復興のあゆみ～
	8月30日(土)～12月25日(木)	東日本大震災津波伝承館 企画展示 自分の命はじぶんで守る―防災の「自分ごと化」―
	8月30日(土)～10月30日(木)	盛岡地方気象台パネル展～身近な自然災害から命を守る～
	9月10日(水)～10月30日(木)	岩手県における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等【令和7年6月更新版】パネル
	11月1日(土)～12月25日(木)	岩手日報社 いわてワンプロポスター展
	12月10日(水)～2月26日(木)	気象業務のあゆみ
	12月27日(土)～6月29日(月)	東日本大震災津波伝承館 企画展示 命を守る津波避難・避難場所の今―次の災害へ備える取組―
	12月27日(土)～3月18日(水)	岩手県警察東日本大震災津波警察活動写真展
	2月20日(金)～3月24日(火)	令和7年度岩手県復興ポスター展
	2月28日(土)～5月28日(木)	震災をつたえる～岩手県立山田高等学校のとりくみ～
令和8 (2026)	5月31日(日)～7月30日(木)	2026 岩手の土砂災害写真パネル展～みんなで防ごう土砂災害～
	7月1日(水)～11月29日(日)	東日本大震災津波伝承館 企画展示 災害と水―水道のない避難生活を生き抜くために―
	8月1日(土)～9月29日(火)	岩手の流域治水パネル展 2026～激甚化・頻発化する水災害にみんなで備える～

■ イベント企画

※I-セミナーとは？

I-ルートを拠点にみんなで災害や防災などについて考え、学ぶイベントです。

年度	開催日	催事タイトル
令和 5 (2023)	12 月 10 日(日)	フェーズフリー入門～いつもの暮らしから、非常時の支えに～
	3 月 2 日(土)	I-ルーム開設記念講演「地震防災を考える～東日本大震災・能登半島地震をうけて～」
	3 月 3 日(日)	一戸高校生と学べる防災ボトル～カバンに入るコンパクトな備え～
	3 月 9 日(土)	防災みつツア～紙食器をつくろう～
令和 6 (2024)	7 月 20 日(土)	海と人と、～バイオロギングで実現する海洋生物と人との持続可能な共生社会～
	7 月 29 日(月)	I-セミナー「家族で防災について学ぼう in 遠野～災害と妖怪～」
	8 月 1 日(木)・2 日(金)	I-セミナー「紙ぶるるを使って地震防災について学ぼう」
	9 月 14 日(土)	I-セミナー「おうちのキケンを見つけよう！！～いつおきるかわからない災害に備えて～」
	10 月 5 日(土)	図書館見学ツアー＆ちょこっとおはなし会
	11 月 2 日(土)	I-セミナー「絶対に見つけだす！～災害救助犬のキセキ～」
	12 月 7 日(土)	I-セミナー「みんなで学ぶフェーズフリー～いつもの暮らしから、非常時の支えに～」
	1 月 13 日(月)	I-セミナー「ぼうさい NURIE でいのちを守る」
	2 月 1 日(土)	I-セミナー「花巻北中学生による復興絵本読み聞かせ&図書館見学ツアー」
	2 月 22 日(土)	I-セミナー「いわて うみラボ～大槌湾から見る東日本大震災～」
	3 月 20 日(木)	I-セミナー「震災・防災つながるカフェ」
令和 7 (2025)	5 月 10 日(土)	I-セミナー「防災すごろくゲーム『GURAGURA TOWN』で遊んでみよう！」
	6 月 21 日(土)	I-セミナー「大雨に備える～しくみを知って命を守る～」
	7 月 20 日(日)	I-セミナー「日本赤十字社が見た大船渡林野火災」
	8 月 5 日(火)	I-セミナー「防災すごろくゲーム『GURAGURA TOWN』で遊んでみよう！」
	9 月 23 日(火)	I-セミナー「防災食を食べてみよう！」
	10 月 5 日(日)	図書館見学ツアー＆ちょこっとおはなし会
	11 月 8 日(土)	I-セミナー「台所からはじめるフェーズフリー」
	12 月 20 日(土)	I-セミナー「絶対に見つけだす！～災害救助犬のキセキ～」
	1 月 17 日(土)	盛岡地方気象台のお天気教室
	2 月 11 日(水)	I-セミナー「館長！防災について教えてください！」
	2 月 14 日(土)	未来のおまわりさんの防犯・交通安全教室
	3 月 20 日(金)	I-セミナー「震災・防災つながるカフェ」
令和 8 (2026)	5 月 10 日(日)	I-セミナー「防災すごろくゲーム『GURAGURA TOWN』で遊んでみよう！」
	6 月 20 日(土)	I-セミナー 講演会「園長、クマはどうして街に出てくるんですか？～知られざるクマの生態を学ぶ～」
	7 月 4 日(土)	I-セミナー「土砂災害って知ってる？～発生のしくみや避難のしかたを学んで砂防博士になろう！～」
	7 月 26 日(日)～30 日(木) 8 月 17 日(月)	I-セミナー「防災で自由研究！？ お悩み相談室！」
	9 月 6 日(日)	I-セミナー「防災食を食べてみよう！～日々の備えはバッチリですか？～」

県内図書館の活動紹介

県内各地の図書館から特徴と活動をご紹介します

洋野町立種市図書館

所在地：〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市 23-27-1

TEL: 0194-65-3943 FAX: 0194-65-3958 Email: taneichi-toshokan@town.hirono.iwate.jp

現館建築年月：昭和 58 年 4 月 延べ床面積：1,178 ㎡



※手作り感いっぱいの図書館です。庭木の剪定もしています。ハート型に仕上げました。※
Instagram も是非、ご覧ください。Instagram：@hironotoshokan

図書の蔵書冊数： 123,818 冊 (令和 8 年 4 月 1 日現在)

年間来館者数： 8,280 人 (令和 7 年度)

年間登録者数： 2,807 人 (令和 7 年度)

開館時間	平日：午前 9 時 00 分 ～ 午後 6 時 00 分 土日祝日：午前 9 時 00 分 ～ 午後 5 時 00 分			
休館日	・水曜日 ・祝日の翌平日 ・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・蔵書整理期間			
登録範囲	町民以外も貸出可能			
貸出点数・期間		点数(点)	期間(日)	延長
	図書・DVD・CD	10	14	可

洋野町立種市図書館の特徴と活動

洋野町立種市図書館は岩手県北沿岸にあり、青森県との県境にある図書館です。洋野町には種市図書館と大野図書館の2館があり、それぞれ個性のある蔵書を構築しています。種市は「南部もぐり発祥の地」ということで、潜水やダイバーに関する図書を収集しています。町内には全国で唯一の「海洋開発科」のある岩手県立種市高等学校があり、国内はもとより、世界で活躍している潜水士を育てています。令和8年(2026)に発刊された小説『北三陸高校海洋開発科ヘルメットダイバーズ』のモデルにもなっており、この作品の中で種市の街中の様子もリアルに出ているので機会があったら読んでいただきたいです。種市図書館ではひとつひとつの作品をできるだけ多くのみなさんに見ていただく機会を設けようと、図書展示をできるだけ多く開催しようと思っております。種市高校と小説の世界観をコラボした「南部もぐりと種市高校&ヘルメットダイバーズ」展も開催しました。種市図書館との複合施設である種市歴史民俗資料館が3階にあり、そちらとあわせて町のPRもできました。種市高校の学校図書館の先生のご協力により現役高校の教科書をお借りして学校のパンフレットと一緒に展示しました。



ご紹介したい展示企画のひとつに、一般社団法人 3710Lab 主催の「図書館とであう海の本」の企画にも参加しています。これは、全国の図書館員が選んだ、海にまつわる本を集め Web 上の美術館で公開し、かつ各図書館で共通のテーマ「海の本」で集めた図書の展示を行うといった企画です。それぞれの図書館員が選んだ本と本を紹介するコメントもあわせて公開されています。選書とそのコメントに「さすが！図書館員」と感心させられま

す。ひとつのテーマで全国の図書館とつながれるのはおもしろい企画でした。図書館は相互貸借の仕組みもありますが、他館とのつながりも多く、本を介して広がっていく業界なんだなと感じています。



つながりといえば、種市図書館は北海道テレビ放送の「水曜どうでしょう」という番組ともつながりがあります。番組にゆかりのある桜の木を挿し木で根付かせることに成功し、当館の裏庭で兄弟桜として順調に成長しています。14 年前に番組ディレクターをお招きし「仕事二活カス読書ノススメ」というタイトルで読書推進講演会を開催しましたが、令和8年(2026)6月にも「洋野町 20 周年記念 第2回仕事二活カス読書のススメ」と題し、再度、講演会を開催することができました。

種市図書館は昭和 58 年(1983)に開館し、令和 8 年(2026)で 43 年になります。その間にいろいろな方とのご縁をつなぎ、ひとりひとりの利用者さんの人生に何かしらの影響をあたえる仕事ができたら良いなと思いながら日々仕事をしています。

古くて、マニアックな本も多い図書館です。北海道や大阪等からも相互貸借の依頼があります。相互貸借にはできるだけ気持ちよく応じたいと思っておりますので、お気軽にお声がけください。

最近は古い雑誌や資料の選別に力を入れています。対応年数期限が来たから廃棄ではなく、古くても価値のある資料を見極め保管して将来的にも活用できるようにしていくのも図書館の大事な仕事だと考えています。このように種市図書館は、本を介して「人と人」、「人と情報」はもとより、「歴史と今と未来」をつなぐ活動をしています。

(洋野町立種市図書館 担当：平 留美子)

レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。

Q. インドではYESの時は首を横に振り、NOの時は首を縦にする（うなづく）ってホント？

【キーワード】

インド ジェスチャー 身振り 習慣 マナー

【調査プロセス】

1. インドに関する資料を調査。
2. マナーに関する資料を調査。
3. ジェスチャーに関する資料を調査。

【回答】

ところ変われば、私たちの常識とは違う文化や風習があるものです。

まずはインドに関する資料を調査してみますが、インドでは当たり前のことなのか、改めて記述のある資料を見つけることができませんでした。そこで、インドの観光ガイドに旅行者向けの案内として載っていないか見てみました。『インド』の「習慣とマナー」の項目に「首を横に振れば了解のサイン」とあり、「インド人は会話中に、よく顔を斜めにしたり横に振ったりするが、これは「わかった」とか「はい」という意味で、拒否のジェスチャーではないので間違えないように。」とあります。やはり旅行者向けに注意喚起されていたようです。さらにマナー、ジェスチャーというキーワードで調べてみました。

マナーについての『国際マナー常識事典』には「身ぶり手ぶり」の項目に「インドー首を振ってうなづくのは否定」があり、“日本と違うのは肯定の場合、インド人はよく「アッチャー（よいという意味）」と言って、首を左側に傾ける。否定の場合はあごを引いてうなづく格好をする。”とあります。なかなか複雑です。

ジェスチャーに関する『ボディートーク 世界の身ぶり辞典』には「HEAD ROLL 頭揺れ」の項目があり、“「うなづく」の代わりに使われるが「頭振り」に大変似ているために大きな混乱を引き起こす。つまり頭を左右に揺らして実際は肯定を示しているのに、外国からの訪問者は否定を表していると勘違いしやすい。”とあり、頭を振る様子が描かれています。他にこのジェスチャーをする地域としてブルガリア、パキスタンがあげられています。

他にも『それ日本と逆!?文化のちがひ習慣のちがひ』には「イエス」ではあごをそらし、片方のまゆ毛をつりあげ、「ノー」では首をうしろにそらし、目を開くと国によってさまざまな表現があることが書かれていました。世界は広いと感じるレファレンスでした。

【主な参考資料】 ※（ ）内は当館請求記号

- ・『インド』ブルーガイドブックス編集部／編 実業之日本社 1987年（292.09/7 1/1）
- ・『国際マナー常識事典』企業OBペンクラブ／編著 学研 1994年（385/3 2）
- ・『ボディートーク 世界の身ぶり辞典』デズモンド モリス／著 東山 安子／訳 三省堂 1999年（R801.9/刊）
- ・『それ日本と逆!?文化のちがひ習慣のちがひ 第2期2』須藤 健一／監修 学研プラス 2017年（J382/9/2-2）





盛岡の夏祭り「盛岡さんさ踊り」には前身となるお祭りがあったと聞いたが、どのような祭りだったのか、なぜ「さんさ踊り」に変わったのか知りたい。

【キーワード】さんさ踊り、民俗芸能、郷土芸能

【調査プロセス】

1. 「盛岡さんさ踊り」・盛岡の歴史に関する資料を調査
2. 当時の新聞・広報紙を調査

【回答】

「盛岡さんさ踊り」は毎年8月1日～4日、盛岡市中央通を会場に踊りと和太鼓のパレードが行われる盛岡市を代表する夏祭りで、令和8年(2026)で開催49回目を迎え、4日間で計112万6千人の入出がありました。このお祭りは昭和53年(1978)に第1回が開催されましたが、その前に前史とも言える夏祭りが行われていたことをご存知でしょうか。

『盛岡さんさ物語』によると、東北各地の有名な夏祭りのように、盛岡にも夏の観光客を呼びこもうと、盛岡商工会議所が中心となって「盛岡川まつり」という祭りが企画されました。第1回が昭和46年(1971)8月7日・8日の二日間、北上川公園・北上川・中津川を主会場とし、飾り舟の競作による水上カーニバル・花火の打ち上げなどが主行事として行われた、と紹介しています。当時の『岩手日報』の記事や「川まつり」の全面広告によると、装飾舟が53隻、430発の花火が打ち上げられ、二日間で15万人の入出があったそうです。また、サブプログラムとして郷土民謡とチャグチャグ馬コのパレードなども行われました。

では、いつ現在の形になったのか。『盛岡さんさ物語』と『幸呼来』によると、昭和49年(1974)の第4回開催の時、従来の「見る祭り」から「参加する祭り」へと転換を図るため、プログラムの一部に「からめ踊り」や「さんさ踊り」が追加され、一般市民も参加するかたちで行われました。しかし、プログラムが総花的で柱になるものがない、との声があり、昭和51年(1976)の第6回開催後、実行委員会で祭りの抜本的見直しが行われました。その結果、市民に親しまれている「さんさ踊り」をメインとすることが決定し、会場も大通商店街と肴町商店街に変更。各地域独自の踊りやテンポを踊りやすく統一した「統合さんさ踊り」が誕生し、翌年開催の第7回で披露されました。また、祭りのメインや会場が変更となったため、昭和53年(1978)、「川まつり」に代わる名称を募集することとなり、615点の応募の中から「盛岡夏まつり・さんさ踊り」が選ばれました。これで名実ともに「さんさ踊り」へ変わり、現在に至ります。

毎年多くの人で賑わう「盛岡さんさ踊り」。かつては川を会場に舟を浮かべる、今とかなり毛色の違ったお祭りであったことに驚きました。盛岡のお祭りの意外なはじまりの歴史を知ることができた事例でした。



【主な参考資料】

- ・『盛岡さんさ物語 盛岡さんさ踊り二十周年記念誌』盛岡さんさ踊り実行委員会／企画 盛岡さんさ踊り実行委員会 1998.12(K386.8122/㊦)
- ・『幸呼来 盛岡さんさ踊り40年誌』盛岡さんさ踊り実行委員会／企画 盛岡さんさ踊り実行委員会 2017.12 (K386.8122/㊦)
- ・『岩手日報電子縮刷版』1971(昭和46)年8月6日朝刊8面、8月8日15面、8月9日朝刊11面、8月10日朝刊10面、1978(昭和53)年2月11日朝刊10面、3月29日朝刊14面
- ・『岩手日報』2026(令和8)年8月5日朝刊22面
- ・『広報もりおか』昭和53年3月15日号 No.509 p.4

児童コーナーわかば通信

県立図書館児童コーナーの活動をご紹介します。

やってみよう!! しょうわのあそび

昨年(2025 年)は、昭和で数えると 100 年にあたります。そこで、けん玉やあやとりなど、昭和の遊びを楽しめる催事を開催しました。大人にとっては懐かしく、子どもたちには新鮮な楽しさで、大好評。「またやりたい!」との声をいただき、今年も開催しました。

びゅんびゅんごま



ここを
持ってね



けん玉



やったー!
できた!!



お手玉



頭にさせて
みよう



あやとり



こう
中指に
かけてね

参加者の声

- 家に帰ってからも、家族であやとりしたよ!
- 面白くて、自分のけん玉を買いました!
- びゅんびゅんごまに、うまく色を塗れたよ!
- お母さん、お手玉上手なんだねー!

実施してみて

- けん玉やあやとりの技を、本ですぐ調べて挑戦できるという、図書館イベントの良さを実感しました。
- 自分で色を付けたびゅんびゅんごまと、あやとりひもは持ち帰ってもらいます。他にも、紙コップ製のけん玉や折り紙のおはじきをプレゼント用に用意しました。
- 参加者やスタッフに自然な交流が生まれ、和気あいあいとした雰囲気でした。

図書館揭示板

県立図書館からの連絡や告知をお届けします

令和 8 年度巡回展のご案内

毎年岩手県立図書館では、学習機会の提供と読書の普及奨励に資するため、過去に行われた企画展の展示資料を再構成し、申し込みのあった市町村立図書館等へ貸出を行っています。

今年度もたくさんのお申込みをいただきました。ありがとうございます。

寄せられた希望の日程を調整し、次ページからの日程で開催される予定となりました。

巡回展の開始 2 週間前には、ポスターと目録を当館のホームページの「市町村立図書館等ログイン」内「コミュニティ→ライブラリ→展示資料施設貸出（巡回展）」に投稿いたします。展示開催前の告知や配布用目録の印刷、自館の資料を合わせて展示する用意をするなど、事前の準備にご利用いただけます。

今年度の巡回展は、以下のテーマの展示を巡回します。

※手づくり絵本展につきましても、例年通り貸し出しを行う予定です。

文学賞受賞図書展

令和 7 年 6 月から令和 8 年 5 月までの間に発表された文学賞のうち、岩手県立図書館所蔵図書をまとめた展示です。県内 12 カ所を巡回します。

岩手県誕生物語

盛岡・仙台・一関・八戸の各藩に分かれていた江戸時代から、動乱の戊辰戦争、「岩手県」誕生に至るまでの岩手県域の歴史を紹介する展示です。県内 20 カ所を巡回します。

岩手のお米 今むかし

度重なる凶作・飢饉に見舞われてきた歴史や冷害に強くおいしい品種を求めた先人たちの努力、現代のさまざまな県産ブランド米まで、「岩手のお米事情」を紹介する展示です。県内 21 カ所を巡回します。

啄木資料展

過去 2 年間に岩手県立図書館が新たに収集した石川啄木関連図書の展示です。県内 6 カ所を巡回します。

「文学賞受賞図書展」展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間				貸出施設名	移送期限	移送先
1	2026年	10月 9日（金）	～	10月 18日（日）	洋野町立種市図書館	10月 22日（木）	大槌町立図書館
2		11月 20日（金）	～	11月 29日（日）	大槌町立図書館	12月 3日（木）	紫波町図書館
3		12月 4日（金）	～	12月 13日（日）	紫波町図書館	12月 17日（木）	盛岡市渋民図書館
4	2027年	1月 8日（金）	～	1月 17日（日）	盛岡市渋民図書館	1月 21日（木）	岩泉町立図書館
5		2月 5日（金）	～	2月 14日（日）	岩泉町立図書館	2月 18日（木）	花巻市立花巻図書館
6		4月 16日（金）	～	4月 25日（日）	花巻市立花巻図書館	4月 29日（木）	山田町立図書館
7		4月 30日（金）	～	5月 9日（日）	山田町立図書館	5月 13日（木）	釜石市立図書館
8		5月 14日（金）	～	5月 23日（日）	釜石市立図書館	5月 27日（木）	北上市立和賀図書館
9		5月 28日（金）	～	6月 6日（日）	北上市立和賀図書館	6月 10日（木）	久慈市立山形図書館
10		6月 11日（金）	～	6月 20日（日）	久慈市立山形図書館	6月 24日（木）	花巻市立大迫図書館
11		6月 25日（金）	～	7月 4日（日）	花巻市立大迫図書館	7月 8日（木）	花巻市立石鳥谷図書館
12		7月 9日（金）	～	7月 18日（日）	花巻市立石鳥谷図書館	7月 22日（木）	岩手県立図書館

「岩手県誕生物語」展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間				貸出施設名	移送期限	移送先
1	2026年	8月 28日（金）	～	9月 6日（日）	奥州市立江刺図書館	9月 10日（木）	矢巾町図書センター
2		9月 11日（金）	～	9月 20日（日）	矢巾町図書センター	9月 24日（木）	久慈市立山形図書館
3		9月 25日（金）	～	10月 4日（日）	久慈市立山形図書館	10月 8日（木）	二戸市立図書館
4		10月 9日（金）	～	10月 18日（日）	二戸市立図書館	10月 22日（木）	九戸村公民館図書室
5		10月 23日（金）	～	11月 1日（日）	九戸村公民館図書室	11月 5日（木）	野田村立図書館
6		11月 6日（金）	～	11月 15日（日）	野田村立図書館	11月 19日（木）	山田町立図書館
7		11月 20日（金）	～	11月 29日（日）	山田町立図書館	12月 3日（木）	花巻市立石鳥谷図書館
8		12月 4日（金）	～	12月 13日（日）	花巻市立石鳥谷図書館	12月 17日（木）	花巻市立大迫図書館
9		12月 18日（金）	～	12月 27日（日）	花巻市立大迫図書館	1月 7日（木）	盛岡市都南図書館
10	2027年	1月 8日（金）	～	1月 17日（日）	盛岡市都南図書館	1月 21日（木）	洋野町立種市図書館
11		1月 22日（金）	～	1月 31日（日）	洋野町立種市図書館	2月 4日（木）	釜石市立図書館
12		2月 5日（金）	～	2月 14日（日）	釜石市立図書館	2月 18日（木）	花巻市立花巻図書館
13		2月 19日（金）	～	2月 28日（日）	花巻市立花巻図書館	3月 4日（木）	紫波町図書館
14		3月 5日（金）	～	3月 14日（日）	紫波町図書館	3月 18日（木）	盛岡市渋民図書館
15		3月 19日（金）	～	3月 28日（日）	盛岡市渋民図書館	4月 1日（木）	岩泉町立図書館
16		4月 2日（金）	～	4月 11日（日）	岩泉町立図書館	4月 15日（木）	大船渡市立図書館
17		4月 30日（金）	～	5月 9日（日）	大船渡市立図書館	5月 13日（木）	大槌町立図書館
18		5月 14日（金）	～	5月 23日（日）	大槌町立図書館	5月 27日（木）	一戸町立図書館
19		5月 28日（金）	～	6月 6日（日）	一戸町立図書館	6月 10日（木）	奥州市立胆沢図書館
20		6月 25日（金）	～	7月 4日（日）	奥州市立胆沢図書館	7月 8日（木）	岩手県立図書館

「岩手のお米 今むかし」展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間				貸出施設名	移送期限	移送先
1	2026年	11月 20日（金）	～	11月 29日（日）	花巻市立東和図書館	12月 3日（木）	久慈市立図書館
2		12月 4日（金）	～	12月 13日（日）	久慈市立図書館	12月 17日（木）	宮古市立図書館
3	2027年	1月 8日（金）	～	1月 17日（日）	宮古市立図書館	1月 21日（木）	野田村立図書館
4		1月 22日（金）	～	1月 31日（日）	野田村立図書館	2月 4日（木）	葛巻町公民館図書室
5		2月 5日（金）	～	2月 14日（日）	葛巻町公民館図書室	2月 18日（木）	大槌町立図書館
6		2月 19日（金）	～	2月 28日（日）	大槌町立図書館	3月 4日（木）	花巻市立大迫図書館
7		3月 5日（金）	～	3月 14日（日）	花巻市立大迫図書館	3月 18日（木）	一関市立大東図書館
8		3月 19日（金）	～	3月 28日（日）	一関市立大東図書館	4月 1日（木）	一戸町立図書館
9		4月 2日（金）	～	4月 11日（日）	一戸町立図書館	4月 15日（木）	釜石市立図書館
10		4月 16日（金）	～	4月 25日（日）	釜石市立図書館	4月 29日（木）	矢巾町図書センター
11		4月 30日（金）	～	5月 9日（日）	矢巾町図書センター	5月 13日（木）	花巻市立石鳥谷図書館
12		5月 14日（金）	～	5月 23日（日）	花巻市立石鳥谷図書館	5月 27日（木）	岩泉町立図書館
13		5月 28日（金）	～	6月 6日（日）	岩泉町立図書館	6月 10日（木）	二戸市立図書館
14		6月 11日（金）	～	6月 20日（日）	二戸市立図書館	6月 24日（木）	洋野町立種市図書館
15		6月 25日（金）	～	7月 4日（日）	洋野町立種市図書館	7月 8日（木）	花巻市立花巻図書館
16		7月 9日（金）	～	7月 18日（日）	花巻市立花巻図書館	7月 22日（木）	久慈市立山形図書館
17		7月 23日（金）	～	8月 1日（日）	久慈市立山形図書館	8月 5日（木）	山田町立図書館
18		8月 6日（金）	～	8月 15日（日）	山田町立図書館	8月 19日（木）	盛岡市渋民図書館
19		8月 20日（金）	～	8月 29日（日）	盛岡市渋民図書館	9月 2日（木）	大船渡市立図書館
20		9月 3日（金）	～	9月 12日（日）	大船渡市立図書館	9月 16日（木）	紫波町図書館
21		10月 1日（金）	～	10月 10日（日）	紫波町図書館	10月 14日（木）	岩手県立図書館

『啄木資料展』展示資料貸出期間一覧表

No	貸出期間				貸出施設名	移送期限	移送先
1	2027年	2月 19日（金）	～	2月 28日（日）	野田村立図書館	3月 4日（木）	洋野町立種市図書館
2		3月 5日（金）	～	3月 14日（日）	洋野町立種市図書館	3月 18日（木）	山田町立図書館
3		3月 19日（金）	～	3月 28日（日）	山田町立図書館	4月 1日（木）	盛岡市渋民図書館
4		5月 14日（金）	～	5月 23日（日）	盛岡市渋民図書館	5月 27日（木）	釜石市立図書館
5		6月 11日（金）	～	6月 20日（日）	釜石市立図書館	6月 24日（木）	大槌町立図書館
6		6月 25日（金）	～	7月 4日（日）	大槌町立図書館	7月 8日（木）	岩手県立図書館

岩手県立図書館報

としょかん いわて

No.199

発 行 日 令和 8 年 9 月 30 日

編集・発行 岩手県立図書館